

平成26年度 安曇野検定準備講座

～未来につなぐふるさと安曇野講座～

～第1回～

株式会社中村屋ふるさと観光大使就任記念

# 自立と独創のデュエット



相馬愛蔵・黒光 夫妻

とき：平成26年7月17日（木）午後7時から

場所：穂高交流学習センター「みらい」

講師：中島博昭氏

## 講師プロフィール

中島 博昭 氏 (なかじま ひろあき)

1934年 安曇野市穂高生まれ。

現在、地域史研究家、「安曇野文芸」編集長、安曇野塾運営委員。

長年、松本深志高校など県内の高校社会科教師を務めるかたわら、郷土の優れた人物や文化財の掘りおこしと顕彰、地域づくりに尽力。

前長野県短期大学講師。

著書 『鋤鍬の民権—松沢求策の生涯』

『がいどぶっく 安曇野の里 穂高ものがたり』

『安曇野に八面大王は駆ける』

『探訪・安曇野—その旅と歴史ロマン』

『唄え、安曇節』

『常念山麓』

『犀川川筋ものがたり』

編著 『あゝ祖国よ恋人よ—きけわだつみのこえ上原良司』

ほか。

株式会社中村屋ふるさと観光大使就任記念

## 自立と独創のデュエット

’ 14. 7. 17

★はじめに 2014 安曇野市と中村屋の提携の実現

1994 (平成6) 穂高町合併40周年特別企画展

「夫妻で築いた近代への道 相馬愛蔵・黒光展」 穂高町民会館講堂

記念講演 山田太一 (「パンとあこがれ」脚本家)

菓子商 ①自立と③独創の②デュエット

### ★①自立

『一商人として』相馬愛蔵 岩波茂雄の言葉から

† 国家一日も欠くべからざるものは気節 (気概節操) の人

† 私も商売を創めるにさきだち夫妻の教え (中村屋の株主)

† 独立独歩自由誠実の大道を闊歩して所信を貫く (政商に対し、昭和14年 東京・小売商売れ行きNO1)

† この本は商売の正道を顕揚した生きた戦勝の実録 商人を志す人の教科書  
昭和13~50年25版

消費者の立場に立ち、良い商品を開発、掛け値なしの安い価格で販売 正札主義

『研成』←「中村屋は素人の店である」 (愛蔵) 一から出発

明治初め 「研成学校」 (県学事係 杉浦義方命名)

31年 「研成義塾」 (愛蔵提案、「研成」に初めて魂を与える。研いで成す)

好んだ言葉「研究と誠実」

↑ ↑

従業員教育「研成学院」

「高遠の学」 ----- 原則 実践

### ②デュエット (夫婦)

◇『安曇野』白井吉見 † ひとりの男、ひとりの女としての魅力 † 一組の夫婦としての妙味 † 中村屋サロンの個性的群像 † 自分の郷土の先輩たちという郷土愛 † その活躍の日本の近代化に果たした役割のもつ魅力、祖国愛

◇穂高新婚時代・夫 (蚕種製造) 主妻 (主婦) 従→本郷中村屋時代・夫 (蚕種製造) 白金相馬家跡取り予定 ----- 同 妻 (パン屋)

◇『夫婦教育』相馬黒光 (昭和13)

↓

「新しい女」否定 「一つ一つの波・風が 新宿中村屋時代 (明治42~) 中村屋の発展の縁、夫婦の楔となる」 夫妻ともにパン屋 安雄跡取り

### ③独創

◇『ロシア菓子職人一代・ピロシキとチョコレート』関口保 「主人」「お内儀さん」

◇オリジナル商品開発 クリームパン (本) 水ヨーカン (新) インドカレー (喫茶部 vs 三越デパート)

◇商標・社歌 ◇語録「商売を芸術化すべし」「己れの業を以て国家・社会貢献」